

とめ、はね、はらいについて

■漢検の採点の基本的な考え方

その文字特有の骨組み(字体)が読み取れ、誰が見てもその字であると判断できれば、漢字の細部のとめ、はね、はらいなどの書き方によって不正解とすることはありません。

漢検では、

- ・平成22年内閣告示「常用漢字表」の「(付)字体についての解説」
- ・文化審議会国語分科会報告「常用漢字表の字体・字形に関する指針」などの公的資料により採点しています。これらの資料は、文化庁のホームページ(<https://www.bunka.go.jp/>)でご確認いただけます。

糸 - 糸...○ 糸...○ 木 - 木...○ 木...○

奥 - 奥...○ 奥...○ 袁 - 袁...○ 袁...○

干 - 干...×

別の漢字「于」と判断。

危 - 危...×

「皮」や「声」などのはねる部分と混同して、不要な部分まで書いてあると判断。

欠 - 欠...×

「毎」や「乞」などの「冫」部分と混同していると判断。